発行：環境アニメイティッドやお広報委員会

＼八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン／

かわちの風

No.168
2019.12

きんたい廃校博物館「きんぱく」

廃校を活用して、できた博物館。
廃校ならではの工夫がたくさんつまった
展示とは・・・

P2で詳しくご紹介

運営スタッフの方々

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる
市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です

検索 環境アニメ

きんたい廃校博物館

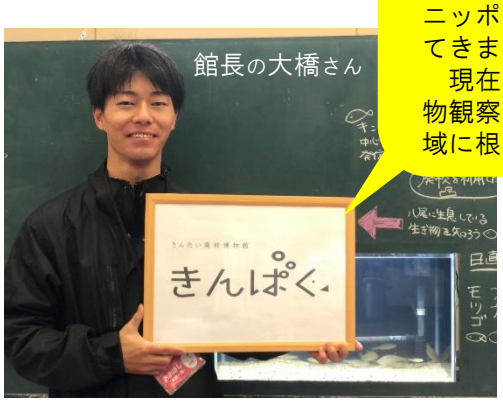
きんぱく

プレオープン！

12月15日に旧北高安小学校で開催された、やまねきマルシェにて、きんたい廃校博物館「きんぱく」がプレオープンしました。

「きんぱく」はキンタイ（ニッポンバラタナゴ）を中心とした生物多様性について、発信・学びの場を提供する廃校を活用した博物館です。

学校にあった、机、椅子、ビーカーなどの資源を活用して、展示を行っています。



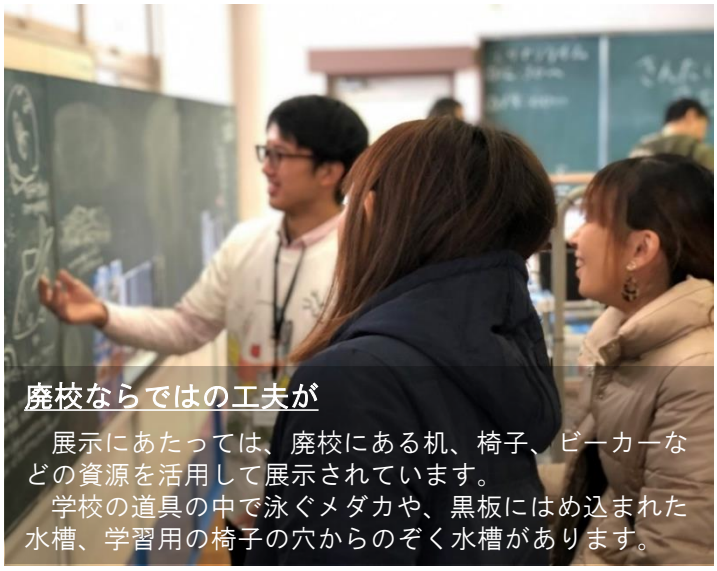
館長　大橋さんの Profile

学生の時に“大和川下流域の魚類相”というテーマで研究を行いながらニッポンバラタナゴの保全活動を行ってきました。

現在でも大和川での生態調査や生き物観察会、ため池での保全活動など地域に根ざした活動をされています。

「キンタイ」とは

キンタイ（ニッポンバラタナゴ）とはコイ科の小型淡水魚で、環境破壊や外来種の影響により生息数を減らし、絶滅危惧種ⅠA類に選定されました。本来は近畿地方以西の本州、四国北部、九州北部に分布していましたが、現在では八尾市をはじめ、限られた地域にしか生息していません。キンタイは、二枚貝に産卵するなど他の生き物とのつながりが強いことも特徴です。キンタイをシンボルとした保護活動は地域の自然再生や環境保全につながります。



廃校ならではの工夫が

展示にあたっては、廃校にある机、椅子、ビーカーなどの資源を活用して展示されています。

学校の道具の中で泳ぐメダカや、黒板にはめ込まれた水槽、学習用の椅子の穴からのぞく水槽があります。

「きんぱく」の今後の展望

当面は、毎月第3日曜日のプレオープンを続けながら、今回展示に協力いただいた大阪経済法科大学のECO～る∞KEIHOのように、他の教育機関や企業とも協力して規模を拡大していきたいとのこと。その他、生物多様性などに関心のある人たちを集めて、情報交換をしながら、発展を目指すそうです。

「博物館の展示レイアウトは今後しっかりと詰めていきたい。」と語る大橋館長。

生物への配慮をしながら、学校の備品を使った展示のレイアウトひとつひとつにこだわりを持ち、全体の見せ方、博物館としての機能を確保していく方針のようです。

来年の６月に本格オープンを目指し、現在はスタッフ間で検討を進めています。

きんたい廃校博物館「きんぱく」

ACCESS　旧高安中学校
八尾市水越 2－117

Open　毎月第3日曜日
10:00～16:00

Mail　kinpaku_museum@yahoo.co.jp

Instagram
きんぱく公式アカウント

KINPAKU_MUSEUM

■　問合わせ先（事務局）　TEL：072-924-9359　FAX：072-924-0182　ホームページ：http://www.eco-ani-yao.org/

やまねきマルシェで地域循環

12月15日開催　やまねきマルシェ大盛況

2019年12月15日に開催された「やまねきマルシェ」では、環境アニメイティッドやおが事業を進めている「地域循環共生圏（※）」にかかる取組を実施いたしました。その様子をお伝えします。

（※）地域循環共生圏とは
各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。農山漁村も都市も活かす、地域の活力を最大限に発揮する構想であり、その創造によりSDGsの実現にもつながるものと言われています。

株式会社柳田製作所からお借りしている焚火台

アクトランド八尾による焚火で焼きマシュマロを作る企画

やまねきマルシェにおける地域循環共生圏

「やまねきマルシェ」では、企業の協力、周辺大学の学生の協力、地域の協力、生態系サービスを含めた地域資源の活用、出店者による協力などいろいろな協働が見えたイベントでした。

会場では、キャンプギアの焚火台が設置されていて、焚火を囲みながら交流をされている様子をうかがえました。設置されていたキャンプギアは特殊車両の製造をメインとしてされている株式会社柳田製作所が製造販売しているもので、地域貢献として、焚火台を地域に貸出して協力いただきました。

企業が製造した焚き火台、地域の野外活動センターが持ってきてくれた薪割り機、剪定枝の燃料の活用といったように、地域資源をこのイベントで活用して循環させています。

リーラボによる木育教室

（※）木育とは
森林・林業について体験・学習する機会の提供や、木の良さやその利用の意義を学ぶ活動のこと

地域循環共生圏構築に向けて

地域循環共生圏では、都市部と農山村部をつなぎ、お互いがそれぞれの強みを生かし、弱みを補完し合う概念が示されています。

今回のやまねきマルシェのように、企業の技術を生かした商品である焚き火台をお借りして、その焚火台で地域の団体が焼きマシュマロをつくる企画をされたり、また企業の商品であるキャンプ用ラックをお借りして出店者のブースで活用させてもらったりと、企業の協力をもらいながら、地域資源を補う取組は地域循環共生圏につながります。

その他、八尾市で木育（※）に関する活動をされているリーラボという企業が木育教室を開設したり、大阪市内にあるアウトドア用品店のパタゴニア サーフ大阪が出店したりと、多様な企業が団体が関わりながら、イベントが盛り上がり、地域活性につながっていました。

株式会社柳田製作所からお借りしているキャンプ用ラックを使用する出店者

観光と環境 ～オーバーツーリズムとエコツーリズム～

先月号でも紹介した、国連が提唱している「SDGs～持続可能な開発目標～」で示されているように社会、経済、環境の３つの視点を持つことは大切な考え方です。しかし、観光には、経済的・社会的な視点が入ることがありますが、環境的な面はあまり優先されることがないようです。

今回は、その「観光と環境」との関わりについて考えてみたいと思います。

観光化が進みすぎると…

観光業の発展や観光客の増加により、車の利用が多くなると、車で生物を轢いてしまう「ロードキル」が増加し、野生生物への影響が懸念されます。オーバーツーリズム（※）の問題は、人間だけでなく、環境についても出てくるのです。

また環境が観光資源の地域では、資源そのものが脅かされることになり、観光業そのものが衰退する可能性もあります。

その他にも、人が関わることでの環境への影響はたくさんあるため、観光を持続可能にするためにも、自然環境についての正しい現状の把握、科学的な知識を得ることが大切だと考えられます。

身近な観光と環境～エコツーリズムの取り組み～

しかし環境にとって、観光化は悪影響だけではありません。環境と観光をうまく好循環させている取り組みもあります。その一例が「エコツーリズム」というもので、里山を身近に感じる自然、文化を活用したプログラムが各地で実践されています。

埼玉県飯能市では、薪割り体験、ナイフとスチールマッチで火起こしを実際に行い、起こした焚き火で調理し、五右衛門風呂を沸かすなどの観光イベントが開催されています。

さらに間伐体験や間伐材を使用したDIY体験もあり、里山の歴史と現状を知りながら、山林や木材の活用方法を具体的に学ぶことができます。このような観光と環境をうまく組み合わせるプログラムや、それを実施する仕組みは八尾市でもできるのではないでしょうか？

しかし、DIYをレクチャーできる人、野外活動のツアーガイド、自然保護活動団体、観光業の人たちは、それぞれで活動していることが多く、パートナーを組む場がなかったりします。つまり、このような人たちが手を取り合い、パートナーシップを組むようなシステム作りが大切だと言えます。

そして、このようなシステムが「社会、経済、環境」をキーワードにしてしっかり連携できれば、観光化を進めながらもオーバーツーリズムに対応できる、まさに持続可能な社会が構築できるのではないでしょうか。

（※）**オーバーツーリズム**
特定の観光地において、訪問客の著しい増加等が、市民生活や自然環境、景観等に対する負の影響を受忍できない程度にもたらしたり、旅行者にとっても満足度を大幅に低下させたりするような観光の状況のこと。

株式会社伸明
〒581-0041 八尾市北木の本4丁目72番地
TEL 072-991-3700 FAX 072-922-6953

株式会社平和化研
ISO 9001
ISO14001
認証取得工場です
（本社工場）
〒581-0035 八尾市西弓削2丁目7
TEL 072-948-1699 FAX 072-948-5926

「漏れを防ぐ」
シール製品の商社
東輝産業株式会社
〒581-0068 八尾市跡部北の町1丁目3－17
TEL 072-990-3270 FAX 072-990-3570

14 海の豊かさを守ろう

SDGs～持続可能な開発目標～

GOAL14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

「海の豊かさを守ろう」では、陸から海を守ることが重要

陸から海を守る①～海の酸性化～

海は、水温や化学的性質、海流、生物を通じて、地球を人類が住める場所にしています。この極めて重要な海をどう管理するかは、人類全体にとって重要な課題です。

その一つに海の酸性化があります。大気中の二酸化炭素が地球温暖化に与える影響は知られていますが、海も人から発生した二酸化炭素の約30%を吸収しています。その増加により、産業革命以降、海の酸性化が進んでいることが判明しました。酸性化すると生物の殻や骨格の生成が阻害され、海の生物に大きな影響があるそうです。

つまり、私たちがCO_2を削減することは、海の資源を守ることにもつながるのです。

その②～海のごみ問題～

また海洋のプラスチックごみも問題です。陸上からの排出が主な原因であると考えられ、海洋1㎢当たりで平均13000個のごみが見つかった調査もあります。

これらは、当然生物にも悪影響があり、例えばウミガメがプラスチックごみを食べ、満腹と間違えて餓死することがあります。さらに5㎜以下の大きさのマイクロプラスチックは、小さな海の生物にも化学物質が吸収され、生態系はもちろん、それを食べる人にも影響が出る懸念があります。

そこで八尾市では「やおプラスチックごみゼロ宣言」を行い、３Ｒ運動をはじめ、河川等のクリーンキャンペーンなど、市民、事業者、行政の協働をさらに推進することを目指しています。またマイバッグやマイボトルの使用など、個人で出来ることもあります。

情報を知って行動する。まずは目の前の「陸から海を守る」活動をはじめてはどうでしょうか？

活動情報

環境団体の活動情報をご紹介

第４月曜日

地域密着型ラジオ番組
「情報プラザやお」放送

第１日曜日
※年始を除く

高安山自然再生定期活動

時間　9：30～
場所　近鉄信貴山口駅改札口集合・解散（1月12日）

第４木曜日

楽音寺森林整備定期活動

時間　10：00～
場所　大阪経済法科大学本部棟前集合・解散

第４土曜日
※12月を除く

高安の森 自然楽校

時間　10：00～15：00
場所　京阪宇治駅改札口集合（1月25日）
JR桜島駅改札口集合（2月22日）

第３土曜日
※1,8月を除く

八尾ふるさと 歴史楽校

時間　9：30～15：00
場所　近鉄八尾駅噴水広場集合（2月15日）

第３日曜日

ニッポンバラタナゴ保護池定期調査

時間　9：00～15：00
場所　近鉄服部川駅改札口集合

プリント配線基板製造メーカー
「次の工程は常に顧客である。」をモットーに躍進する

E-mail：tamukai@cyber.ocn.ne.jp
URL：http://www.tamukai.sakura.ne.jp

田向電子工業株式会社
〒581-0066 八尾市北亀井町2丁目3－5
TEL 072-925-7220 FAX 072-925-7240

有本化学工業株式会社
〒581-0052 八尾市竹渕2丁目48
TEL 06-6708-2123 FAX 06-6708-7662

2/11

廃校から高安を巡る 自転車エコツアー 開催

定員30名

写真提供：NPO法人ナック

自転車でめぐるエコツアー

旧北高安小学校からスタートして、高安の自然を感じられる場所を自転車でめぐるエコツアーを開催します。出発地点となる廃校のグラウンドでは、餅つき体験をしたり、豚汁を食べて、元気をつけてから出発します。

日時
2月11日（祝・火）
10時～16時

場所
旧北高安小学校グラウンド集合
八尾市水越2－98
近鉄信貴線 服部川駅 徒歩 16分

参加費
大人1000円、小人500円
幼児250円、2歳以下無料
（自転車レンタルの場合は、別途300円）

焚火で焼きマシュマロ

ツアーでは、途中アクトランド八尾を通り、焚火でマシュマロを焼いて、おやつ休憩をはさみます。
地域の資源を活用した焚火体験。この体験を通じて、おいしく環境について知ってみよう。

10時 → 16時

廃校集合 → 自然体験 → おやつ休憩 → 廃校解散

- 自然体験：もちつき体験と豚汁を
- おやつ休憩：市民の森などで自然体験
- 廃校解散：アクトランド八尾で焚火体験

かわちの風はこちらで

近鉄八尾駅・河内山本駅・久宝寺口駅
JR八尾駅・久宝寺駅・志紀駅・八尾市内図書館・
八尾市内各出張所・市立病院・医真会八尾総合病院・
八尾徳洲会総合病院・コスパ八尾・パシオスポーツクラブ八尾店・プリズムホール・
かがやき・学習プラザめぐる・ウイング・つどい・
みらい・屋内プールしぶき・福祉会館・久宝寺緑地・歴史民俗資料館・しおんじやま古墳学習館・観光協会
サポートやお・教育サポートセンター・
大阪経済法科大学・まちなみセンター・
近畿労働金庫八尾支店・ＦＭちゃお

問い合わせ、申込先
環境アニメイティッドやお事務局（八尾市環境保全課）　072－924－9359

柴谷パッキング工業株式会社　八尾工場
〒581-0042　八尾市南木ノ本9丁目17－1
TEL　072-923-9355　FAX　072-923-9358

グラファイトパッキン
高温油・ガス・高圧蒸気から低温流体まで厳しい条件で使用可能
DIGIC DIGITAL SYSTEM COMMUNITY
株式会社デジック
〒581-0053　八尾市竹渕東1丁目209
TEL　06-6790-8585　FAX　06-6790-4611

株式会社共立ヒートテクノ
〒581-0051　八尾市竹渕西4丁目28
TEL　06-6709-6156　FAX　06-6707-1743

環境アニメイティッドやお
会員募集中！

年間会費：	個人	1,000円
	市民団体	2,000円
	事業者	5,000円
	事業者団体	10,000円

■問合わせ先　事務局 TEL：072-924-9359